

平成 21 年 6 月 11 日現在

研究種目：若手研究 (B)
 研究期間：2006～2008
 課題番号：18700245
 研究課題名 (和文)
 国立大学法人におけるアーカイブズと情報公開および個人情報保護制度に関する研究
 研究課題名 (英文) Archival system for Freedom of Information and Data Protection
 At National Universities
 研究代表者
 平井 孝典 (HIRAI TAKANORI)
 小樽商科大学・商学部・非常勤職員
 研究者番号：20396336

研究成果の概要：

現用文書の適切な管理を求めた、情報公開法および個人情報保護法が、各組織に与えた文書の管理および保存に対する課題を提示してきた。その上で、課題を解決するのにアーカイブズの制度的整備が有効であることを明らかにした。つまり、具体的な実務の報告整理および先進アーカイブズ組織との比較研究を重ねて明らかにした。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,000,000	0	1,000,000
2007年度	1,100,000	0	1,100,000
2008年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	2,700,000	180,000	2,880,000

研究分野：

科研費の分科・細目：情報学／情報図書館学・人文社会情報学

キーワード：大学文書館 大学アーカイブズ 年史 情報公開 小樽商科大学

1. 研究開始当初の背景

国立大学法人のアーカイブズについては、大学文書館を設置するなどして、史資料の保存に大学史研究からの要望に応えるのに加え、社会的な要請に長期的に応えていく(情報公開制度や個人情報保護制度に包括的に応えていく)体制を整える努力をしている大学(京都大学、大阪大学など)もある。この研究では、そのような体制を整えていない大学、言い換えれば大学文書館のような部署を持たない大学(小樽商科大学、神戸大学、山口大学など)が当面、考慮していくべき課題に焦点をあて、さらに言えば、大

学アーカイブズをそれぞれの大学で確立することの必要性を考えることを目指して研究を開始した。

2. 研究の目的

研究の目的は、アーカイブズを持たない国立大学法人が、社会的な要請に応えつつ、いかに大学史資料を収集保存管理そして公開していくか、今までの論点を整理した上で、小樽商科大学での具体的な方法を明らかにすることである。

3. 研究の方法

文書の保存状況について調査して比較考察し、ついで、百年史編纂室や経済研究所

などアーカイブズ関連施設が当面果すべき役割を明らかにし、小規模な大学での大学文書館成立の条件について考察した。

4. 研究成果

成果は大きく言えば、二つある。ひとつは、小樽商科大学ほか国内の大学等の(古い)法人文書の整理における具体的な問題を明らかにしつつ、百年史編纂室の果たすべき役割を提示した(5の発表論文を参照)。二つ目に、フィンランド、デンマーク、アイスランドの大学アーカイブズ等を訪問し、法人文書の整理のための実践的な解決方法およびその思想的背景を明らかにした(①「アーカイブズのない国立大学は消滅統合へ 晩冬のフィンランド訪問」、平井孝典、『京都大学文書館だより』(京都大学大学文書館)、第15号、2008年10月31日。および、②「文書管理の制度とその思想的背景についての序論 小樽商科大学アーカイブズの将来の方向性を考えるために国内の自治体アーカイブズ及びフィンランドの例から学ぶ」、平井孝典、『小樽商科大学史紀要』(小樽商科大学百年史編纂小委員会)、第4号、2010年1月31日刊行予定。などを参照)

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計6件)

① 「大学研究資料としての旧植民地関係図書資料—小樽商科大学における資料活用のための2008年度の取り組み—」、平井孝典、『日中米における満鉄関係資料等の利用と保存をめぐる諸問題—国際ワークショップ報告書—』(日本貿易振興機構アジア経済研究所)、査読無、2009年3月、45-54pp。

② 「小樽高等商業学校と旧植民地関係図書資料」、平井孝典、『小樽商科大学史紀要』(小樽商科大学百年史編纂室)、査読無、第2号、2008年3月、47-52pp。

③ 「麻田四郎先生の給与明細」、平井孝典、『小樽商科大学史紀要』(小樽商科大学百年史編纂室)、査読無、第2号、2008年3月、55-123pp。

④ 「小樽商科大学百年史編纂室による法人文書の収集とその収集活動が「歴史的、学術的に貴重な」法人文書の保存に与える影響」、平井孝典、『小樽商科大学史紀要』(小樽商科大学百年史編纂委員会)、査読無、第1号、2007年3月、29-41pp。

⑤ 「1932年から1963年に提出された生徒学生提出論文」、平井孝典、『小樽商科大学史紀要』(小樽商科大学百年史編纂委員会)、査読無、第1号、2007年3月、43-103pp。

⑥ 「GHQ/SCAPによる小樽経済専門学校調査」、平井孝典、『小樽商科大学史紀要』(小樽商科大学百年史編纂委員会)、査読無、第1号、2007年3月、43-79pp。

[学会発表](計2件)

① 「小樽商科大学百年史編纂室の活動等について I. 編纂室本来の役割と付加される役割、及び、II. 整理中の学生提出論文」、平井孝典、大学所蔵資料の研究会(於 滋賀大学経済経営研究所)、2006年12月8日。

② 「小樽高等商業学校の教育研究活動と旧植民地関係図書資料」、平井孝典、研究会「中国における対日歴史認識および歴史研究動向に関する緊急調査」/国際ワークショップ「日中米における満鉄関係資料等の利用と保存をめぐる諸問題」(於 日本貿易振興機構アジア経済研究所)、2008年3月8日。

[図書](計 件)

[産業財産権]

○出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況(計◇件)

名称：
発明者：
権利者：

種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

小樽商科大学百年史編纂室 HP

<http://archives.ih.otaru-uc.ac.jp>

(本研究の成果を踏まえて作成)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

平井 孝典 (HIRAI TAKANORI)

小樽商科大学・商学部・非常勤職員

研究者番号：20396336

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：